

令和3年11月5日

保護者様

松戸市立常盤平中学校
校長 須原 敬浩

令和3年度 全国学力・学習状況調査の結果について

晩秋の候、保護者の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。また、平素より本校の教育活動にご理解・ご協力をいただき、心より御礼申し上げます。

さて、このたび令和3年度全国学力・学習状況調査(5月27日実施)の結果及び本校生徒の分析結果をまとめましたので、お知らせします。

今後も学力向上はもとより、本校教育活動の推進に努めて参りますので、保護者の皆様方のご支援の程よろしくお願い致します。

1 全国学力・学習状況調査の概要

本調査は、生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育指導の充実や学習状況の改善をねらいとし、全国の中学3年生を対象として、本年度5月27日(木)に国語・数学の2教科について実施されました。調査内容は、主に「教科に関する調査」と「生活習慣や学習環境に関する調査」です。

2 今回の調査から

(1)標準化得点

	国語	数学
本校	102	100
全国	100	

【標準化得点】

相対的に比較するために、全国の平均が100となるように標準化した得点。偏差値に50を加えた値。

- ・国語は、全国平均を上回っています。
- ・数学は、全国平均と同程度です。

(2)各教科 領域ごとの結果

【国語】

- (1)「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の3つの領域の正答率が全国と比較して高かったです。
- (2)適切な「敬語」に書き直すなど伝統的な言語文化に対応できる力をさらに伸ばしていきましょう。

【数学】

- (1)「数と式」「図形」の2つの領域の正答率が高かったです。
- (2)「資料の活用」や「説明」問題、度数や中央値を求める問題に対応できる力をさらに伸ばしていきましょう。

【生活環境や学習環境】

- (1)「基本的な生活習慣」が身につけている生徒が多く、「自己肯定感」や「進路意識」が高い生徒が多かったです。
- (2)1日当たりのゲーム時間が、千葉県・全国と比較して短い生徒が多い。
(ただし、数学の正答率が下位層の生徒の73.4%は2時間以上ゲームを使用していました。)
- (3)「携帯電話、スマートフォンやコンピュータを持っていない」生徒の国語・数学の正答率が最も高かったです。
- (4)「1日当たりの家庭学習時間」の長い生徒が多かったです。
(3時間以上19.4%、2～3時間30.4%、1～2時間30.8%)
- (5)全国に比べて塾の先生に教わっている生徒が多く(73.4%)、時間も長いことがわかりました。
- (6)本校ではICTを活用した授業実践が、県や全国と比較して著しく多いことがわかりました。
- (7)「対話的な活動」に対して、友達の考えを聞いたり、自分の考えを伝えることを前向きに捉えている生徒が多かったです。

3 今後、学校での指導に生かしたいこと

従来通りの学習指導に加えて、ICTを活用することが適切な教科や分野で、今後も積極的にICT機器を活用して、学力向上を目指します。具体的な活用方法としては、国語や数学で正答率が低かった分野において、ICTを使った家庭学習課題の提示や授業でのICT機器の活用を実施します。また、生徒の家庭学習状況についてICTを活用することでデータ化し、個別・最適な学習支援に活用します。家庭学習と授業の一体化を図り、学力の向上を目指していきます。そして本校で研究を進めている「主体的・対話的で深い学びの授業」の実践では、ICT機器を活用しながら「4人一組」での少人数の対話的な学習の実践を継続していきます。

4 その他

- (1)基本的な生活習慣の確立は学習の土台になります。本校生徒は基本的な生活習慣が確立している生徒が多いので、今後とも「早寝・早起き・朝ご飯」の習慣を大切にするようにお願いします。
- (2)学力は、国語、数学の2教科だけで測定できるものではありません。文部科学省は本調査により測定できるのは学力の特定の一部であるとしています。本校といたしましても、今後この趣旨を踏まえて、調査結果を分析し、課題の明確化と改善策を検討して、指導の充実に努めてまいります。
- (3)3年生につきましては、個別の調査結果を別紙「個人票」で配付しています。「個人票の見方」についても裏面で掲載していますので、課題の確認や今後の学習に活用して頂ければと思います。

